

vol. 24

KOREA INTERNATIONAL SCHOOL

| KIS から始まった、夢のつづき

| KIS 4 つのコース

| Activity Report

| KIS News

E K K Y O U J I N

越境人

コリア国際学園 広報誌



建学の精神

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

コリア国際学園 (KIS) は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園 (KIS) は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

教育理念

人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。

3 KIS から始まった、夢のつづき

ーアイドル、海外大学、社会へ。
卒業生が語る、KIS で得た力と今の挑戦ー

6 KIS 4つのコース

IB という選択、世界へつながる学び：
IB コース担当の Sandesh 先生が語る IB の魅力

国際バカロレア (IB) コース

日本留学で見つける、新しい自分。：
挑戦の先にあるもの

日本留学コース

言葉で世界をひらく、KIS コースの学び：
KIS コース教員が見つめる、生徒たちの成長と挑戦

コリア国際 (KIS) コース

新しいジャンルで広がる、表現の力：
演技・コレオグラフィ・BASIC JAZZ・クランプに挑戦。
2025 年大阪・関西万博の舞台で得た経験を、次の表現へつなげる。

K-POP・エンターテインメントコース

18 Activity Report

- ・ KIS 生の挑戦記録
- ・ KIS ならではの部活動、
ユネスコ活動って？
- ・ 夏休み研修

22 KIS News

- ・ 韓国語弁論大会
- ・ 2025 KIS 文化祭
- ・ 中等部韓国研修 in 釜山
- ・ 高等部韓国研修 in ソウル
- ・ 3 言語スピーチ大会
- ・ 第 19 回 KIS 入学式
- ・ 2026 年度保護者会給食
- ・ 新入生歓迎会
- ・ アボジ会活動
- ・ 生徒会主催 BBQ

校章・シンボルマーク



目であり

宇宙であり

太陽であり地球であり

そして、みつめていて、考えていて

そして いつも ゆれている

色は、中心が 赤 (火) (光)

その外が 黄 (アジア)

その外が 草色 (地)

その外が 青 (天であり水)

【シンボルマーク・表紙 デザイン】

黒田 征太郎 Seitaro Kuroda (イラストレーター)



KIS から始まった、

夢のつづき

アイドル、海外大学、社会へ。卒業生が語る、
KIS で得た力と今の挑戦

KISでの出会い、学び、そして数々の挑戦。その一つひとつの経験は、卒業後も生徒たちの未来を切り拓く力となっています。

言語力や国際的な視野、自ら考え挑戦する力を育んだ卒業生たちは、アイドル、海外大学、そして社会へと、それぞれの夢に向かって歩み続けています。今回は、卒業生が語る「KISで得た力」と、今も続く挑戦をご紹介します。



12期卒業生.. 荒巻 萌加

私は、今年の3月に韓国・漢城（ハンソン）大学を卒業して現在は正社員として韓国で働いています！第一専攻で美容、第二専攻で韓国語教育を学びました。在学中に皮膚美容国家資格取得・美容師免許取得・韓国語教員免許を取得しGKS奨学生としても選ばれ、校内奨学金も合わせ4年間全額奨学金を受給し卒業しました。校外活動をきっかけでSNS運営をするようになり現在は趣味程度に続けています。

Q 今、何に挑戦していますか？

専攻分野を生かしながら、現在は日本マーケティングをメインに仕事をし

ています。現在はマーケティングの資格や、仕事を効率よく進めるためのPCスキル、AIを少しずつ勉強しています。

Q KISでの経験で、今につながっていることは？

韓国で生活するにあたって文化的な部分で混乱することがなかったのは韓国人留学生との交流や先生方との何気ない会話など、KISで過ごした日常そのものがあつたからだと思います。授業の発表資料（PPTや原稿）を高校生時代に予め韓国語でしていたのも大学では役立ち、他の外国人に比べて高く評価してもらえたことが多かったです。

Q KIS時代に一番成長したことは？

一番成長したのは、自分の意見を持ち、それを相手に伝えられるようになったことです。KISにはさまざまなアイデンティティを持つ子たちが集まっていて、お互いを否定せず尊重してくれる環境があります。そのおかげで相手に無理に合わせる必要がなくなり、自分の考えにも責任を持てるようになりました。今思うと、視野も広がって相手の意見を寛大に受け止められるようになったなと思います。

Q 在校生に伝えたいメッセージは？

私はKISが個人の可能性を最大限に広げてくれたと思っていますくらい色んな経験をさせて貰ったので、悩む暇があるなら片っ端からできる出来ない関係なく一旦やってみてほしいです。思っていたのと違ったらやめたいいし、いくらでも修正が効くのは今のうちです（笑）経験ほど強いアイテムはないので沢山チャレンジしてください！応援しています！





第6期卒業生..
李庚鎬（イキョンホ）

Q 今、何に挑戦していますか？

現在、関西を中心にスタンダップコメディをやっています。マイク一本で、自分自身の生い立ちや社会に対して思うことを話すコメディです。社会風刺や在日コリアンとして思うことなど…日々ネタを磨いています。来年からは台湾に行つて現地の言葉で笑いをとることを目標にしています！

Q K I Sでの経験で、今につながっていることは？

自分の頭で考える習慣です！K I Sでは様々なバックグラウンドをもった個性豊かな先生がいっぱいありました。知識だけではなく、物事の考え方の道筋を教えてくださいました。ついつい私たちは、「多くの人が考えていることが正しい」と思いがちですが、K I Sの授業を通して、自分の頭で考えて人生を切り開いていけるようになりました。



Q K I S時代に

一番成長したことは？

自信を持てるようになったことです！僕は小学校の頃、勉強もできず、学校にもなじみませんでした。でもK I Sの寮に入って、部屋でなんとなく教科書を読んでいたとき、舎監の先生が「きょんほは真面目に頑張ってるな」と言ってくれました。それまで人に褒められたことがなかったので、とても励まされたのを覚えています。その日から勉強するようになり、成績も少しずつあがりました。「頑張ったら結果がでるんだ！」という実感が自信につながりました。

Q 在校生に伝えたいメッセージは？

K I Sは自分のやりたいことを実現するのに最適な学校です！はじめの一步さえ踏み出せば、たくさんの大人がサポートしてくれる環境です。逆に言うと、その一步が非常に大切です。衝突や失敗を恐れずにチャレンジしてください！





12期卒業生…遠藤麻由美

私は昔から韓国の文化やKPOP、ファッションが好きで、「韓国語を話せるようになりたい」、「人前に立つ仕事したい」という夢を持っていました。その夢を実現できる環境を探していた時に出会ったのがKISです。地元を離れて大阪へ進学し、最初は韓国語も全く話せず不安でしたが、先生方や友人、寮で生活を共にした仲間を支えられ、安心して挑戦できる環境がありました。

初めて身近で多文化に触れ、言葉の壁に悩むこともありましたが、「もっと話せるようになりたい」という思いを原動力に、毎日語学やダンス、歌の練習に励みました。思うようにいかず何度も挫折しましたが、努力を続けた先で得られた達成感は、私に「諦めずに挑戦し続けること」の大切さを教えてくれました。

卒業後は韓国の芸術大学でファッションを学び、現在は韓国でファッション業界の海外マーケティングに携わっています。今も壁にぶつかることはありますが、KISで培った挑戦する力と諦めない気持ちが、今の私を支えてくれています。皆さんも、自分を信じて一歩ずつ挑戦を続けてください。今積み重ねている努力は、必ず未来の自分への糧になります。



こんにちは。藤井雄聖です。僕は、自分の価値は肩書きや数字だけで決まるものではなく、どれだけ行動し、中身を磨いてきたかで決まるのだと思っています。

KISに入学したのは、韓国でアーティストになるという夢に一歩でも近づきたかったからです。韓国語、ダンス、ボーカルなど初めての挑戦ばかりでしたが、その一つひとつが今の僕につながる大切な時間でした。

特に心に残っているのは、仲間と出場したダンス大会です。最初は負け続け、僕が足を引っ張ることも多くありました。それでも仲間は見捨てずにいてくれました。だからこそ、負けてはいられないと必死に努力でき、最終的には日本一を二度経験することができました。夢を追う中で孤独を感じることもありましたが、この経験を通して「仲間っていいな」と心から思えました。

KISでは、多文化共生の大切さも学びました。世界大会で各国の代表と交流したり、韓国で生活したりする中で、違いを否定するのではなく、「そういう人もいるんだ」と受け止めることの大切さを実感しました。世界を見ることが楽しくなったのも、KISでの学びがあったからです。これから、自分で考え、選び、行動し続けたいです。

13期卒業生…藤井雄聖

特集

KIS から始まった、 夢のつづき

International Baccalaureate Course

国際バカロレア (IB) コース

IBという選択、世界へつながる学び

IBコース担当のSandesh先生が語るIBの魅力

「IBを選ぶ」という言葉には、単に進学コースを選ぶ以上の意味があります。それは、与えられた答えを覚える学びから、自分で問いを立て、根拠を探し、異なる考えを持つ人と対話しながら世界を見つめる学びへ踏み出すことです。KISが掲げる「越境人」と、国際バカロレア (IB) の学びはどのようなつながっているのでしょうか。Sandesh先生に、IB教育の魅力、授業で育つ力、そしてAI時代にIBを学ぶ意味について聞きました。

Q Sandesh先生にとって、IBのいちばん大きな魅力は何ですか。

IBの最大の魅力は、探究に基づく深い学びと、それを国際的な視野と結びつけている点です。生徒は、単に知識や事実を暗記するのではなく、自らリサーチし、考え、評価しながら知識を構築していきます。そして、その深い理解を国際的な視点から捉え、活用する力を身につけていきます。

例えば、一般的な歴史の授業では、日本国憲法に定められた権利を覚えることが中心になるかもしれません。しかし、IBではそこからさらに一歩踏み込みます。その権利が生まれた時代背景を学び、他国の憲法と比較しながら、「権利とは何か」という本質的な問いについて考えていくのです。

オウムは人の言葉やフレーズを真似することはできます。しかし、その言葉を状況に応じて理解し、適切に使いこなす思考力を持つて

いるのは人間だけです。IB教育が育てているのは、まさにこの「考え、理解し、活用する力」なのです。

Q KISの理念である「越境人」とIBは、どのようなつながっていますか。

まず、皆さんにも考えてみてほしいと思います。「越境人」とは、どのような人のことを指すのでしょうか。複数の言語を流暢に話せる人でしょうか。それとも、たくさんの国を旅した経験のある人でしょうか。

ここで、IBが掲げる「IBの学習者像」に目を向けてみてください。そこには、探究する人、考える人、コミュニケーションができる人、心を開く人など、IBが育てようとする人物像が示されています。

このIBの学習者像と、KISが目指す「越境人」の姿を重ねてみると、きっと多くの共通点が見えてくるはずです。



International Baccalaureate Course

IBは、優れた学業成績を身につけるだけでなく、地域社会や国際社

IBDPには、「コア」と呼ばれる3つの重要な学びがあります。EE（課題論文）、CAS（創造性・活動・奉仕）、そしてTOK（知の理論）です。このコアの存在が、Aレベルをはじめとする他の国際的な教育プログラムとIBを大きく分ける特徴の一つです。

Q IBDPの学びで特に大切な「コア」について教えてください。



IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野を持つ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球と共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

探究する人 私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキル身に付けます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生産を通じて持ち続けます。	心を開く人 私たちは、自己の文化と個人的な経歴の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多岐な視点を求め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようと努力します。
知識のある人 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに積極的に取り組みます。	思いやりのある人 私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界をよくするために行動します。
考える人 私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。	挑戦する人 私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考え方や方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。
コミュニケーションができる人 私たちは、複数の言語や様々な方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。	バランスのとれた人 私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちが生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。
信念を持つ人 私たちは、誠実かつ正直に、公平な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々が持つ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とその結果に責任をもちます。	振り返りができる人 私たちは、世界について、そして自分の考えおよび経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域や社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

© International Baccalaureate Organization 2017
International Baccalaureate® | Baccalaureat International® | Bachillerato Internacional®

IBDP が誇る「コア」教科

TOK 知の理論

知識が生産されるプロセスに対する考察を目的とする授業です。知識をより根源的な観点で見ることを可能にします。

Extended Essay 課題論文

生徒自ら選んだ一つのテーマについて調査・考察し、論文としてまとめます。自身の興味関心を深く掘り下げ、思考を研究する機会になります。

CAS 創造・活動・奉仕

私たちが生きる社会と知識を繋げ、創造的な力を多様なあり方で発揮する活動です。学んだ知識を生きた知識として活かす機会になります。

つまり、IBのコアとは、「知識を身につけること」を目的とするのではなく、自ら問いを立て、考え、行動し、その学びを社会のために生かせる人を育てるための学びなのです。

会に貢献できる人を育てることを目指しています。そのために、3つのコアを通して、考える力や探究する力、学びを社会で生かす力を育んでいきます。

International Baccalaureate Course

国際バカロレア (IB) コース

Q 授業の中で、生徒たちはどのように変わっていますか。

IBの学びを通して、生徒は「知識」をただ受け取るだけの受け身なスポンジから、自ら問いを立て、考え、答えを導き出す探偵のような学習者へと成長していきます。この力は、高校卒業後の大学での学びはもちろん、社会に出てから直面するさまざまな課題にも対応できる力につながります。

例えば、事件現場を想像してみてください。あなたは、起きた出来事をそのまま記録するだけのお巡りさんでいたいですか。それとも、集めた情報をもとに仮説を立て、証拠を分析しながら真実を導き出す探偵になりたいですか。

IBの授業では、まさに探偵のように「なぜだろう」「本当にそうなのだろうか」と問いを立て、自分で調べ、考え、根拠をもって結論を導き出す力を育てていきます。

Q AIが発達する時代に、IBを学ぶ意味はどこにありますか。

AIは、とても便利な道具です。しかし、AIは「考える」のではなく、与えられた情報をもとに答えを導き出しています。本当に考え、判断するのは人間です。

例えば、私たちは小学校で算数を学ぶとき、最初から電卓を使いません。それは、自分の頭で考える力を育てるためです。AIも同じで、便利だからといって答えをそのまま受け入れるのではなく、その答えが正しいのか、なぜそうなるのかを自分で考え、判断する力が必要になります。

IBは、AIの使用を否定する教育ではありません。むしろ、AIを倫理的かつ効果的に活用し、その限界を理解したうえで使いこなす力を育てることを大切にしています。

そして、IBの学習者像の中心にあるのは、AIには真似のできない「人への共感」や「国際的な視野」です。だからこそ、AIがますます発達する時代だからこそ、自ら問いを立て、考え、判断し、多様な価値観を理解できる人を育てるIBの学びには、大きな意味があるのです。

Q IBは難しいという印象もあります。どのような覚悟や姿勢が必要ですか。

IBは、決して誰にでも簡単に取り組めるプログラムではありません。本校では、外国籍の生徒であれば日本語能力試験N2程度の日本語力に加え、高い出席率や学習成績が求められます。また、時代に英語やコリア語の学習を十分に積み重ねていない場合は、IBの語学の授業で苦労することもあるでしょう。

IBコースと他のコースとの大きな違いは、「最後までやり遂げる覚悟」が求められることです。IBコースを選ぶということは、2年間のディプロマプログラムを最後までやり抜くことを自分自身と約束することでもあります。そのため、途中で諦めずに挑戦し続ける強い意志が必要です。

そして、何より大切なのは、あらゆることに疑問を持つ姿勢です。与え





られた情報をそのまま受け入れるのではなく、「なぜだろう」「本当にそうなのだろうか」と問いを立て、自ら調べ、考え、結論を導き出す習慣を身につけることが求められます。IBでは、「問う」「つなげる」「評価する」「統合する」「振り返る」という学びのプロセスを繰り返しながら、自ら成長していきま。最初から完璧である必要はありません。一歩ずつ学習習慣を整え、日々の積み重ねを大切にすることで、着実にIBで学ぶ力を身につけることができます。

Q 大学進学や将来の進路には、どのようにつながりますか。

IBディプロマを取得した生徒は、高等学校卒業程度認定試験（高卒認定試験）を受ける必要がありません。IBディプロマは日本では高校卒業資格と同等の資格として認められており、さらに世界中の多くの大学で高く評価されています。

また、IB英語B HLで高いスコアを取得した場合には、英語圏の大学でIELTSなどの英語試験が免除されるケースもあります。このように、IBは国内だけでなく海外への進学にも大きな強みを持つプログラムです。

さらに、IBの卒業生は大学入学後も主体的に学び、自ら考え行動する力に優れていると評価されています。IBが本当に育てたいのは、大学合格だけではありません。探究心や思いやり、国際的な視野を備えた人であれば、大学でも社会でも、変化の激しい時代を自分の力で切り拓いていくことができるでしょう。

Q IBを迷っている生徒や保護者へ、メッセージをお願いします。

高校時代は、子どもから大人へと成長していくための大切な橋渡しの期間です。その橋がしっかりしていなければ、その先に待つ大学生活や社会でのさまざまな課題に、十分な準備をして向き合うことはできません。

IBディプロマ・プログラムは、将来へと続く道を自分の力で歩いていくための、確かな土台をつくる教育です。学びを通して、生徒は自立した大人へと成長し、自分にとって何が大切なのか、何が正しいのかを、自ら考えて判断できるようになります。

IBが教えるのは、「何を考えるべきか」ではありません。「どのように考えるか」です。教師が答えを与えるのではなく、生徒が自分で問いを立て、考え、答えを導き出せるように支えていく。それがIBの学びです。

IBは決して簡単な道ではありません。しかし、そこで身につけた考える力や行動する力は、卒業後も生徒を支え続けます。将来を自分の力で切り拓いていきたいと考える生徒にとって、IBは大きな成長につながる選択肢になるはずです。

I'm a big fan of stoic philosopher
and Roman Emperor
Marcus Aurelius.

In his words,
"The happiness of your life
depends upon the quality
of your thoughts."

So, why not choose a course
that will lead to happiness?

Study Abroad in Japan Course

日本留学コース



日本留学で見つける、新しい自分。——挑戦の先にあるもの——

副校長 金浪芝

人は、自分の将来のために決断し、一步を踏み出します。その行動を私たちは「挑戦」と呼びます。しかし、挑戦の道のは決して平坦ではありません。むしろ、つまずきや失敗のほうが多く、何度も諦めなくなる瞬間が訪れます。また、他人が手にした成功だけを見て、「自分にも手に入っただけなのに」と感じてしまうこともあります。しかし、その人が積み重ねてきた努力や苦勞は、外からは見えないものです。

私も26年前の夏の終わり、デザイナーになるという夢を抱き、韓国から日本へ留学しました。当時の私にとって夢とは「職業」のことでした。その仕事に就くことだけが目標であり、その先にどのような人間になりたいのかを考えたことはありませんでした。

しかし、結果として、私はデザイナーにはなりませんでした。趣味が古本屋巡りだったので、ある古本屋の店主の方との出会いがきっかけで、文学に魅了され、大学、大学院では日本文学を専攻しました。

けれども、その経験を通して一つの大切なことに気づきました。それは、夢を職業だけで考えていると、本当の自分には出会えないということです。学生として過ごした10年間、そして社会人として歩んできた16年間で振り返ると、この考え方に出会えたことが私の人生を大きく変えました。

「○○になりたい」と努力し、それが叶わなければ失敗だと考えてしまうと思います。そして、自分を責めたり、他人をうらやんだりする

Study Abroad in Japan Course

人生になることもあります。しかし、「人生を通してどのような人間になりたいのか」という視点で考えるようになると、失敗や回り道は決して結果ではありません。むしろ、自分を成長させるための大切な土台になります。

だからこそ、大切なのは「完璧であること」ではなく、「挑戦し続け、前に進むこと」です。そして、人が持っているものばかりを見るのではなく、自分自身の歩みを大切にすることではないでしょうか。

留学生活も同じです。正直に言えば、楽しいことよりも苦しいことのほうが多いかもしれません。言葉が思うように通じず、文化の違いに戸惑い、孤独を感じることもあるでしょう。それでも、日本語がうまく話せなくても、勇気を出して話してみる。失敗しても、もう一度挑戦する。その積み重ねが、やがて大きな自信となり、自分自身を成長させてくれます。

これから日本への留学を考えている皆さんには、不安よりも期待を大切にしてほしいと思います。最初は誰もが戸惑います。しかし、その経験は決して無駄にはなりません。留学で得られるものは、知識や資格だけではなく、自分で人生を切り開く力、人とながらう力、そして困難な状況でも前向きに歩み続ける力です。

コリア国際学園で留学生活を送っている生徒の皆さん、これから留学したい皆さんに、私は教員としてだけでなく、一人の留学経験者として伝えたいことがあります。26年前、日本へ来た私も、一日一日を生きることに精一杯で、素敵な将来を思い描く余裕はありませんでした。それでも歩みを止めなかったからこそ、今の私があります。

留学生活は決して楽しい異文化体験ではありません。しかし、その道を歩いた人だけが見ることのできる景色があります。皆さんも日本で多くのことを学び、多くの人と出会い、自分だけのかけがえのない留学生活を築いてください。そして、その経験が、皆さんを「どんな職業に就くか」だけではなく、「どのような人間として生きていくか」を考えられる人へと成長させてくれることを心から願っています。



Korea International School Course

コリア国際 (KIS) コース



言葉で世界をひらく、KISコースの学び

KISコース教員が見つめる、生徒たちの成長と挑戦

コリア国際コース（KISコース）では、「越境人」の育成を教育理念に掲げ、日々の授業づくりに取り組んでいます。ここである「越境」とは、国境だけではなく、言語や文化、価値観の違いを越え、多様な人々とながら自らの未来を切り拓いていくことです。そのため、本コースでは韓国語・日本語・英語の3言語を学ぶだけではなく、それらを実社会で活用できる力として身につけられるよう、実践的な学びを大切にしています。

卒業後の進路は、日本国内にとどまりません。毎年、多くの生徒が韓国の名門大学へ進学し、現地の授業にも十分対応できる韓国語力を身につけています。また、英語力を生かして、カナダ、アメリカ、マレーシア、イギリス、アイルランドなど世界各国の大学へ進学する卒業生も少なくありません。KISで培った3言語の力が、生徒たちの進路の選択肢を大きく広げていることを、私たち

教員も日々実感しています。

KISコースの特色は、語学教育だけではなく、「時事討論」や「多文化社会研究」といった授業では、現代社会が抱えるさまざまな課題を教材として扱います。国際情勢、多文化共生、環境問題、AIの発展など、答えが一つではないテーマについて、生徒たちは自ら調べ、考え、仲間と議論を重ねます。その過程を通して、自分の考えを論理的に構築し、相手に伝わる言葉で発信する力を養っています。

卒業生が学校を訪ねてくれた際に、「KISでの授業は大学の学びにとても近かったため、大学生活にスムーズに適応できた」と話してくれることがあります。また、「高校時代から社会問題やグローバルな課題について深く考える経験を積めたことで、卒業後も物事を多角的に捉えられるようになった」と語る卒業生も少なくありません。教室での一つひとつの問いかけや議論が、卒業後の学びにつながっていることは、私たちにとっても大きな喜びです。



Korea International School Course



そして、その学びを生徒自身の言葉で表現する機会の一つが、スピーチ・弁論大会への挑戦です。

代表的なものが、「2言語・3言語スピーチ大会」と「大阪韓国語弁論大会」です。2言語・3言語スピーチ大会は、コリア国際学園中等部・高等部と関西学院千里国際中等部・高等部が共催する伝統ある大会で、中等部は2言語、高等部は3言語を用いて自らの考えを発表します。今年度は、「当たり前」を見つめ直すという哲学的なテーマのもと、生徒たちは何度も原稿を練り直し、多角的な視点から思考を深めながら、自分の言葉を磨き上げていきました。

また、第53回を迎えた今年度の大阪韓国語弁論大会では、「縁」をテーマに熱のこもった弁論が繰り広げられました。他の民族学校から多くの生徒が参加し、高い表現力が競われる中、本校高等部3年の後藤安美さんが見事大賞を受賞しました。大切な「縁」を蜘蛛の巣に重ねて表現したスピーチは、後藤さん自身の経験と 생각이よく表れたもので、多くの聴衆と審査員の心を動かししました。

後藤さんは大会を振り返り、「大会の準備を通して、これまで出会ってきた大切な縁について改めて考えることができました。先生方の熱心なご指導のおかげで表現方法を学び、本番では悔いのないスピーチをすることができました」と話しています。



私たちKISコースの教員が目指しているのは、試験のただの語学力ではありません。大学での学びを支える言語運用能力、世界を広く深く見つめる知識と教養、そして自分の考えを相手に伝え、人の心に届く表現力。そのすべてを日々の授業と実践の中で磨き、「言葉を使って未来を切り拓く人」を育てていくことが、KISコースの教育です。越境人として世界へ羽ばたく力は、生徒たち一人ひとりの学びと挑戦の積み重ねの中から育まれています。



K-POP Entertainment Course

K-POP・エンターテインメントコース

2026年度K-POPコース新たな挑戦がスタート！

2026年度、K-POPコースでは新たに「演技」「コレオグラフィ」「KRUMP」「BASIC JAZZ」の4つの授業を導入しました。

近年のエンターテインメント業界では、ダンスや歌の技術だけではなく、人の心を動かす表現力や、自ら考え、作品を創り出し、発信する力がこれまで以上に求められています。K-POPアーティストはもちろん、俳優やダンサー、振付師、パフォーマーなど、活躍できるフィールドはますます広がっています。

本校が目指しているのは、K-POPアイドルを育成することだけではありません。生徒一人ひとりが自分らしい夢や目標を見つけ、その可能性を大きく広げながら、幅広いエンターテインメントの世界で活躍できる力を身につけてほしいという思いから、新たなカリキュラムをスタートしました。

演技では、セリフを読むだけでなく、表情や視線、姿勢、呼吸、間の取り方などを通して感情を表現する方法を学びます。楽曲の歌詞やコンセプトを深く理解し、その世界観を身体全体で表現することで、観る人の心に届くパフォーマンスを目指します。さらに、ミュージックビデオやドラマ、舞台など、さまざまな場面で必要となる「伝える」から「伝わる」表現力を養います。

コレオグラフィでは、振付を覚えるだけでなく、自分自身で振付や構成を考え、一つの作品を創り上げることに挑戦します。楽曲の世界観やメッセージをどのように表現するかを考え、演出まで組み立てることで、創造力や発想力を磨きます。また、仲間と意見を交わしながら作品



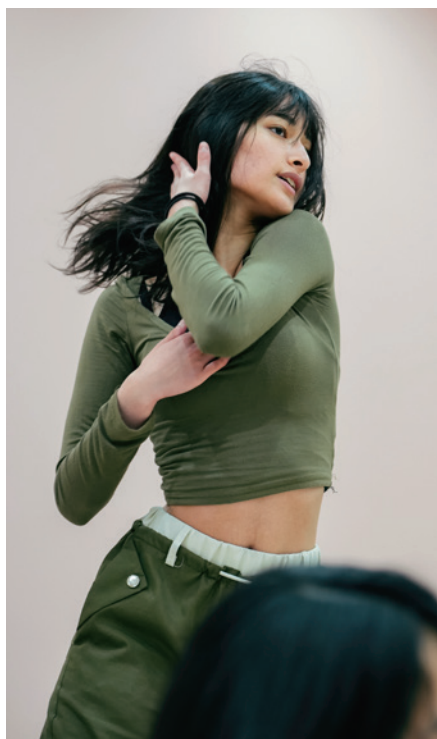
K-Pop Entertainment Course

を完成させる過程で、コミュニケーション力や協調性、リーダーシップも育まれます。

KRUMPでは、力強くダイナミックな動きと感情表現を通して、自分らしさを解放し、個性を武器にできる表現力と自信を育てます。型にはまらず、一人ひとりが持つ感情や個性を身体全体で表現する経験は、これからのエンターテインメント業界で大きな強みとなります。

BASIC JAZZでは、正しい姿勢や身体の使い方、柔軟性、体幹、ターンやジャンプなど、あらゆるダンスにつながる基礎を丁寧に学びます。美しい身体のラインやしなやかな動きを身につけることで、ジャンルを問わず活躍できる身体づくりと表現の幅を広げていきます。

4つの授業に共通するテーマは、「教わる」から「創り、発信する」学びへの進化です。これからの時代に必要なのは、学んだことを再現する力だけではなく、自ら考え、挑戦し、新たな価値を生み出す力です。K-POPコースはこれからも、一人ひとりの個性を大切にしながら、技術だけでなく創造力・表現力・人間力を育み、生徒それぞれが思い描く未来へ羽ばたけるよう、夢の実現に向けて全力で応援していきます。



K-POP Entertainment Course

K-POP・エンターテインメントコース

2025年大阪・関西万博の舞台で得た経験を、次の表現へつなげる。

2025年、大阪・関西万博でK-POP・エンターテインメントコースは合計4回のステージに出演し、多くの方々の前で歌とダンスを披露しました。世界中から人々が集まる特別な舞台で得た経験は、生徒たちにとってかけがえのない財産となり、大きな自信と成長につながっています。今回は、実際に万博のステージに立った2名の生徒に、出演を通して感じたことや学んだこと、そして夢への思いを語ってもらいました。

高等部2年 平古場 梨穂

K-POPアーティストを目指して日々ダンスや歌の練習に励んでいる、コリア国際学園高等部2年の平古場梨穂です。昨年開催された2025年大阪・関西万博では、コリア国際学園の生徒として計2度ステージに出演し、K-POPダンスを披露させていただきました。

世界中から多くの方々が集まる大阪・関西万博という特別な舞台でパフォーマンスができたことは、私にとって忘れることのできない貴重な経験です。

ステージから見えたたくさんのお客様の笑顔や温かい拍手は、今でも鮮明に心に残っています。

この経験を通して、音楽やダンスには言葉や国境を越えて人と人をつなぐ力があることを改めて実感しました。そして、「世界で活躍できるK-POPアーティストになりたい」という夢を、より強く持つきっかけにもなりました。

大阪・関西万博で得た経験と感謝の気持ちを忘れず、これからも努力を積み重ね、多くの人に感動や笑顔、勇気を届けられるアーティストを目指して挑戦し続けます。

貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。





高等部2年 田中愛沙

普段、K-POPアーティストとしてグローバルに活躍することを目指している、コリア国際学園高等部2年の田中愛沙と申します。

昨年、2025年大阪・関西万博に3度出演し、K-POPダンスとボーカルを披露させていただきました。

何十年に一度という貴重な機会である大阪・関西万博の舞台に立ち、パフォーマンスをさせていただけたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

普段からありがたいことに様々なステージに立たせていただいておりますが、大阪・関西万博は、これまで経験してきたどのステージとも違う特別な空気感があり、その感動は今でも鮮明に覚えています。

観客席には外国人観光客の方々をはじめ、小さなお子さんから大人まで、本当に多くの方がいらっしゃいました。足を止めて見てくださる方も多く、たくさんの方の前でパフォーマンスができたことで、自分の「世界で活躍するアーティストになる」という夢に、一歩近づくことができたように感じました。

大阪・関西万博という夢のある舞台で、このような貴重な経験をさせていただけたことは、私にとって一生の宝物です。この経験を胸に、これからも世界で活躍できるK-POPアーティストを目指して努力を続けてまいります。

夢のような思い出をありがとうございました。

検定試験に向けて個人的にどんな勉強をしていますか？

ゆうさん：単語は授業の小説を読んでいるとたくさん出てくるので、その時に覚えています。授業以外で取り組んでいるのは、韓国語のニュースや本を読んで文章を読むスピードを速くしたり、いつも見ている動画を韓国語字幕や韓国語にしたりして、耳を慣れさせています。

こころさん：私は身の回りにある単語をたくさん覚えたり、文法を勉強したりしています。試験が近づいてきたら過去問や練習問題を自分で解いてみて、わからないところは先生に聞きにいたりしています。あと、쓰기(作文)も先生に見てもらっています。先生に見てもらうものは試験3週間前くらいから始めて、リスニング問題にも時間を見つけて取り組んでいます。

ソソフンさん：僕も単語をたくさん勉強しました。英検は単語が8割9割だと先生から教えてもらって、ちょうど冬休み期間だったこともあり、1日2時間半くらい単語の勉強をしました。ライティング練習も試験2週間前から始めて、例文をAIに出してもらったりしながら勉強しました。書いたものを先生に添削してもらって、どういう流れで書けばいいのかわかるようになりました。あと、英検は二次試験が面接なのですが、面接対策も先生と実際に何度か練習をしました。最初にやった時は全然うまくいなくて、これは大変だ、...、と思い、対策動画を見たり、先生からアドバイスをもらって、何度も練習を重ねていく中でだんだんとコツが掴めるようになってきました。

さくらさん：私は過去問や参考書を中心に勉強しています。四字熟語が特に苦手なので、過去問で重点的に取り組みました。あと、読みも意外と難しく、点数をしっかりと取れるところで取りたかったので、読みも繰り返し勉強しました。4級よりも3級に挑戦した時の方がやっぱり勉強量は多かったと思います。



検定試験に対するモチベーションはどこから来ているのでしょうか？

ゆうさん：同じクラスに6級を持っている子がいたり、韓国語が上手な子もたくさんいるので、一緒に頑張りたいなと思えるし、周りのみんなも応援してくれるので、それがモチベーションになっています。そして、韓国の大学に進学したいと考えているので、進路に活かせるんだ!というのも大きなモチベーションです。

こころさん：KISではみんなで検定に挑戦するので、いい意味で友達との戦いというか切磋琢磨できるし、先生たちにも結果が見られるので(笑)、個人で挑戦するよりも頑張ろうと思えます。

私は中等部を卒業するまでに6級を取得したいなと思っていて、TOPIKを進路や日常生活での会話に活かしていきたいです。

ソソフンさん：僕も友達が先に準1級を取得していたので、悔しくて同じレベルまでいきたいと思ったのがモチベーションになりました。大学進学にも活用したいなと思っていますが、それだけでなく、準1級に合格できたという自信を手にしたことが一生ものだなと思います。自信に賞味期限はないので笑。次はTOEICやTOEFLに挑戦しようかなと考えています!

さくらさん：もともと漢字が苦手で、でも検定試験は記録に残るし点数が低かったら嫌だなと思って頑張りました。今挑戦している準2級はやっぱり難しいけれど、やればできると信じているし、勉強した分だけ絶対に伸びることもわかっているので頑張ります。あと、毎年同じ友達に手紙を書いているのですが、中2になって漢字が増えたねって言われたり、この漢字わかる?って聞かれてわかるのが嬉しいです。漢検がなかったら勉強しなかっただろうし、漢字が書けたら人を助けたり、自信にもつながるなと感じます。

貪欲に学び、仲間と高め合いながら検定試験に挑む生徒たち。合格はゴールではなく、新たな目標へのスタートです。一つひとつの挑戦で得た経験を力に変え、それぞれの夢や将来に向かって、これからも歩み続けます。

「できる」より、「挑戦する。」

TOPIK・英検・漢検に挑む KIS 生

KIS では、年間を通して TOPIK・英検・漢検など、さまざまな検定試験に挑戦しています。目標に向かって努力を積み重ねることは、生徒たちの大きな成長につながっています。

今回は、それぞれ異なる検定に挑戦する 4 人の生徒に、挑戦への思いや勉強方法、今後の目標について話を聞きました。



皆さんは KIS でどのような検定試験に挑戦していますか？

ゆうさん：私は TOPIK に力を入れています。高 1 で KIS に入学するまで、1 級しか持っていなかったのですが、2 級・3 級と続けて取得し、一度 3 級で停滞した後、高 2 最後の試験で一気に 5 級を取得することができました。

こころさん：私は KIS に入学するまで TOPIK を受験したこともなかったです。中 1 から挑戦し、1 級・2 級と合格したのですが、3 級には一度落ちてしまって、でもその時友達が 3 級に合格していて、悔しいなと思ったので勉強をもっと頑張りました。そして今年の 4 月に、私も一気に 4 級を取得することができました。

ソフンさん：僕はポルトガルでの留学を経て KIS に入学したのですが、日本に来て初めて英検を知りました。KIS で同じく留学経験のある友達が準 1 級を取得していることを知り、僕も挑戦したいと準 1 級を受けて合格することができました。

さくらさん：私も KIS での検定試験をきっかけに、漢検を知りました。もともと漢字は苦手だったんですが、少し高いレベルに挑戦したいという気持ちがあり、4 級を受験することにしました。最初から手応えがあったわけではなかったですが、たくさん勉強して 4 級に合格、中 2 では 3 級に合格することもできました。

授業のどんなところが検定試験につながっていますか？

ゆうさん：私が TOPIK5 級に合格できたのは、韓国語のネイティブクラスに入ることが大きいと思います。高 2 のクラス分けて、みんなと一緒にゆうも頑張ろう！と先生がネイティブクラスに入れてくれました。でも最初は全然ついていけなくて、、、ネイティブクラスは韓国の大学や高校で扱っている小説を自分で読み込んで、意味を理解したりワークシートに答えたり、討論をして自分の意見を伝えたりする活動が中心です。あと、小説の続きを書いたり、韓国語で歴史も一緒に学べて面白いです。TOPIK の試験近くになったら、例えば 쓰기 (作文) はどういう戦略を立てれば点数が取れるのかを先生が重点的に教えてくれたりもします。高 2 の 4 月に試験を受けた後、7 月は受験せずに 10 月の試験を受けて、一気に点数が上がっていたんです！そこで初めて自分の実力が伸びたんだと実感できました。

こころさん：中等部の韓国語では、TOPIK の対策本を使って授業をしています。文法を中心に、言語の微妙なニュアンスってあるじゃないですか、そういう細かいところまで先生がしっかり教えてくれます。

ソフンさん：僕は英語のネイティブクラスに所属しているのですが、授業は英語しか使えなくて、日本語や韓国語を使ったら、ストライクが取られます！だから、スピーキングの練習がめちゃくちゃできます。自分の言いたいことをどうにかして先生やクラスメイトに伝えようとするので、それを継続的に行っていると、英検の面接練習にめちゃくちゃ役立っているなど感じます。

さくらさん：日本語の授業では、週に 2 回、受験級の漢字テストがあるんですが、いつも満点を取りたくて！一生懸命勉強しています。あとは定期的に過去問を解いて、問題の形式に慣れる練習もしています。

KIS ならではの活動って？

部活動・ユネスコ活動をのぞいてみよう！

KIS Activities

KIS の学びは、教室の中だけにとどまりません。仲間と目標に向かって挑戦する部活動、地域や社会とつながりながら主体的に行動するユネスコ活動など、多彩な経験を通して、一人ひとりが成長できる環境があります。楽しみながら挑戦し、自分の可能性を広げる—そんな KIS ならではの活動をご紹介します。

地域とつながり、世界へつながる — UNESCO 活動

KIS の UNESCO 活動では、地域社会への貢献を通して、生徒一人ひとりが主体性やリーダーシップを育んでいます。ESD パスポート制度では、ボランティア活動を記録しながら継続的な社会貢献に取り組み、30 ボランを達成すると表彰を受けることができます。この実績は大学進学にも生かされるだけでなく、自ら考え行動した経験として大きな自信につながります。

活動内容は、生徒自身が企画・選択するものも多く、ナイトマラソンの運営補助や天神祭でのごみ分別活動、能登・気仙沼での災害復興支援、日本語教室での学習支援など、地域や社会とつながる幅広いボランティア活動に取り組んでいます。社会に貢献する経験を通して、多様な価値観に触れ、人として大きく成長できることも KIS ならではの魅力です。



笑顔が広がる、KIS のクラブ活動

KIS の放課後は、バスケットボール部、テコンドー部、美術部、総合運動部など、多彩なクラブ活動で活気にあふれています。仲間と楽しみながら挑戦することを大切に、それぞれが目標に向かって活動しています。放課後だからこそ生まれる学びや成長、そして仲間との絆も、KIS ならではの魅力の一つです。



教室を飛び出し、世界へ。

- 韓国で学び、世界とつながる。KIS だからできる夏の研修。 -

KIS では、教室で学んだ知識や語学力を、実際の世界で生かす機会を大切にしています。今年の夏、生徒たちは「国際青少年カンファレンス in ソンナム」と「SOPA 研修」に参加し、世界中の仲間との交流や専門的な学びを通して、新たな価値観や目標に出会いました。一歩踏み出した先で得た、かけがえのない経験をご紹介します。

城南国際青少年カンファレンス



2026 年 7 月 19 日から 22 日まで、韓国・京畿道城南市の国立国際教育院で「国際青少年カンファレンス in 城南」が開催されました。本校からは 5 名の生徒が日本代表として参加し、韓国、香港、中国、インドネシア、ポーランド、アメリカ、日本の 7 か国・地域の青少年とともに、「青少年と文化の多様性」をテーマに交流やディスカッション、グローバル文化融合コンテンツの制作に取り組みしました。

参加した生徒たちは、初めは英語でのコミュニケーションや異なる文化を持つ参加者との交流に不安を感じていました。しかし、自ら積極的に話しかけることで国境を越えた友情が生まれ、文化や価値観について語り合いながら、互いを理解し尊重することの大切さを実感しました。言葉の壁を越えて笑い合い、ゲームや買い物などの交流を通して築いた絆は、生徒たちにとってかけがえのない財産となりました。今回の経験を支えたのは、KIS で日頃から培ってきた学びです。英語・コリア語をはじめとする言語学習で身につけたコミュニケーション力はもちろん、授業や探究活動を通して多文化共生や国際社会が抱えるさまざまな課題について考えてきた経験が、異なる背景を持つ仲間との対話や協働に大いに生かされました。「伝えようとする姿勢が何よりも大切だった」「当たり前だと思っていた自国の文化を改めて見つめ直すことができた」という生徒たちの言葉からも、大きな成長がうかがえます。KIS では、教室での学びを世界へとつなげる教育を大切にしています。この夏、生徒たちは国際交流を通して多様性を尊重する姿勢とグローバルな視野を育み、自らの可能性をさらに広げることができました。今回の経験は、未来の国際社会で活躍する人材へと成長するための、確かな一歩となったことでしょう。



SOPA 研修

夏休み期間中の 7 泊 8 日、韓国・ソウルにあるソウル公演芸術高等学校 (SOPA) へ研修に行ってきました。研修では、課題曲のダンス・ボーカルや HIPHOP、コレオ (振付) など、毎日 6 時間のレッスンを受けま

した。また、土曜日には安城市にある東亜放送芸術大学 (DIMA) を訪れ、大学見学をさせていただきました。

私は昨年と今年の 2 度、SOPA 韓国研修に参加しましたが、この研修を通して自分自身が大きく成長できたと感じています。友達から「人が変わったみたいだね」と言われるくらい、自分でも考え方や行動が前向きになったと思います。

最初は慣れない環境で不安もありましたが、SOPA の理事長先生をはじめ、先生方や生徒の皆さんがとても優しく接してくださり、安心して研修に取り組むことができました。

パフォーマンスでは、失敗を恐れるよりも、自分らしく表現することの大切さを学び、自分に足りないところや新たな課題を見つけることができました。以前よりも楽しみながら、自由にパフォーマンスができるようになったと思います。

また、学校で学んでいるコリア語をたくさん使うことができ、自分の言葉が相手に伝わったときはとてもうれしく、自信にもつながりました。実際に会話を重ねることで、コリア語の力もさらに伸びたと感じています。

一緒に参加した友達や先生方の、普段の学校生活では見ることのできない一面に触れ、今まで以上に仲を深めることもできました。今回の研修で学んだことを、これからの学校生活やパフォーマンスに活かしていきたいです。

高 2 吉田煌月

韓国語弁論大会

#01

2025年7月27日、第52回韓国語弁論大会が開催されました！
 今回のテーマは「私にとっての青春」。
 本校からも多くの生徒が参加し、会場を盛り上げました。
 さらに、弁士として出場した生徒が見事「優秀賞」を受賞しました！
 その努力と成果が高く評価され、本校の名を大いに輝かせてくれました。
 生徒一人ひとりの挑戦と成長を、これからも応援していきます。



2025 KIS文化祭

#02

11月15日、KIS文化祭が開催されました。
 当日は秋晴れの青空が広がり、多くの方々にご来場いただき、とてもにぎやかな一日となりました。
 第一部では、K-POPコースのオープニングステージからスタート。
 各学年のステージ発表も迫力満点で、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。
 第二部の模擬店では、各担当チームごとに工夫を凝らしたブースが並び、内装やメニューにも個性が光っていました。
 どのお店も活気にあふれ、生徒たちの「やりきった!」という笑顔が印象的でした！



中等部韓国研修in釜山

#03

11月25日から28日に、中等部2・3年生の韓国研修が行われました。

今年の研修先は釜山。観光地の見学はもちろん、姉妹校であるケウン中学校との交流会も実施しました。

韓国はすでに冬の寒さでしたが、ケウン中学校の生徒の皆さんが温かく迎えてくださり、生徒たちにとってとても貴重で心温まる経験となりました。



高等部韓国研修inソウル

#04

KIS高校2年生の生徒たちが、

12月15日から18日まで、韓国・ソウルへの修学旅行に行ってきました。

韓服を着て景福宮周辺を散策する伝統文化体験をはじめ、名門・高麗大学や慶熙大学のキャンパス見学、西大門刑務所歴史館や国立中央博物館で韓国の歴史を学び、聖水洞・明洞では最新のファッションやカフェ文化も満喫しました。

短い滞在期間ながら、韓国の歴史・文化・トレンドをぎゅっと詰め込んだ、充実したプログラムとなりました。

韓国の文化・歴史・食を実際に体験し、学びと発見にあふれた、思い出深い韓国研修となりました。



3言語スピーチ大会

#05

日本語・英語・韓国語の3言語でスピーチ大会を開催しました。

参加した生徒たちは、それぞれの言語でテーマに沿って自分の意見や考えを堂々と発表しました。また、他校の生徒との交流を通して、多様な価値観に触れ、語学力だけでなく表現力やコミュニケーション力を高める貴重な経験となりました。



第19回KIS入学式

#06

4月4日、第19回KIS入学式を行いました!

今年は内部進学生を含め、31名の新入生を迎えることができました。

式では、新入生による3ヶ国語スピーチや、K-POP・エンターテインメントコースによる公演で、新入生の門出をお祝いしました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます!

在校生のみなさんも、新しい目標に向かって一緒に頑張っていきましょう!



2026年度保護者会給食

#07

4月24日、保護者会主催の給食が開催されました!

今回のメニューは、ビビンパ・ワカメスープ、デザートにはフルーツポンチ。

「おいしい!」「おかわりしたい!」という声があちこちから聞こえ、笑顔いっぱいの時間になりました。

友達同士で楽しそうに話しながら食べる姿も印象的で、終始わいわいとした温かい雰囲気に包まれていました。

朝早くから準備してくださった保護者の皆さま、本当にありがとうございました。愛情たっぷりの給食に、心もお腹也大満足のひとときとなりました。



新入生歓迎会

#08

4月23日・24日の2日間、新入生歓迎会を開催しました。

レクリエーションでは、イントロクイズやドッジボールを実施!最初は緊張していた新入生たちも、先輩たちと一緒に楽しみながら交流を深めていました。

昼食後はいくつかのグループに分かれ校内宝探しを開催!

学年を超えて会話する姿も多く見られ、学校全体がとても盛り上がっていました!



アボジ会活動

#09

文化祭出店

11月15日に開催された「KIS文化祭2025」では、第二部の模擬店としてアボジ会による韓国おでんの出店が行われました。当日は、在校生保護者の皆さまがエプロンと三角巾姿で参加し、仕込みや販売を生徒とともに担当してくださいました。その協力のおかげで、準備した250食分の韓国おでんは見事完売となりました。



チャリティゴルフコンペ

KISアボジ会主催「第4回チャリティゴルフコンペ」が開催され、多くの皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。当日は、参加者の皆様から温かいご支援をいただき、学校への寄付を行うことができました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

コンペ終了後は、懇親会が行われ、成績発表や賞品授与などを通して、参加者同士の交流を深める貴重な機会となりました。



生徒会主催BBQ

#10

6月15日(月)に生徒会主催のBBQイベントを行いました!

BBQといっても、今回使用したのは倉庫に眠っていた七輪。小ぶりの七輪を囲んで、学年をまたいだ生徒たちがワイワイ・ガヤガヤと楽しそうにご飯を頬張る姿はとても微笑しかったです。

また、午前中には「未成年の主張」も行われ、友達や先生、地球にまで!言いたいことを思っきり叫び、とっても盛り上がりました!



Special Amusement PLANNING

スタッフ募集・委細面談

学校法人コリア国際学園 理事長
(一社)在日韓国商工会議所 副会長
東京韓国商工会議所 会長
栃木県遊技業協同組合 理事長

民団中央本部 元副団長
東京慶尚南道道民会 副会長
東京ワンコリア
フェスティバル 事務局長

株式会社 エスエープランニング

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-12 ヒューリック八重洲通ビル8階
TEL 03 (6214) 1111 FAX 03 (6214) 1600

代表取締役社長 **金 淳次**

京都芸術大学の キャンパス見学ある？



見どころ満載のキャンパスをぐるりと動画でご案内します。



京都芸術大学で学べる10の学科

美術工芸学科 / キャラクターデザイン学科 / 情報デザイン学科 / プロダクトデザイン学科 / 空間演出デザイン学科
環境デザイン学科 / 映画学科 / 舞台芸術学科 / 文芸表現学科 / こども芸術学科

社会とつながる芸大



学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

TEL 0120-591-200

<https://www.kyoto-art.ac.jp>

CHANOORI

Cafe CHANOORI (チャヌリ)

〒743-0021

山口県光市浅江2丁目5-1



東日本遊技機商業協同組合

East Japan Pachinko Association

理事長 中村 昌勇

〒110-0015 東京都台東区東上野3-18-7 上野駅前ビル9F

TEL : 03-3832-5439 URL : <http://www.toyusho.com/>

株式会社 JYB

代表取締役 大原 弘

〒210-0844 神奈川県川崎市川崎区渡田新町-8-16

COMFORTABLE FINE WEAR
UNIFORM FASHION **UNI=GEN**

有限会社 ユニゲン

代表取締役 GENMOTO 厳本 AKIYOSHI 明芳

〒518-0441 三重県名張市夏見202番地8

TEL : 0595-44-6157 FAX : 0595-44-6158

E-mail : info@uni-gen.sakura.ne.jp

HP : <http://uni-gen.sakura.ne.jp>

株式会社 ロイヤルアイゼン

代 表 取 締 役 **金 善 雄**

〒791-8005 愛媛県松山市東長戸 1 丁目 3-22

TEL・FAX：(089) 924-8583

<https://royalaizen.studio.site/>

「わたしたちらしさ」は変わらないものに。

ただ変えることを恐れず、さまざまな人の声を、

社会の思いを形にしていく。 アズマ会計事務所 税理士東龍次

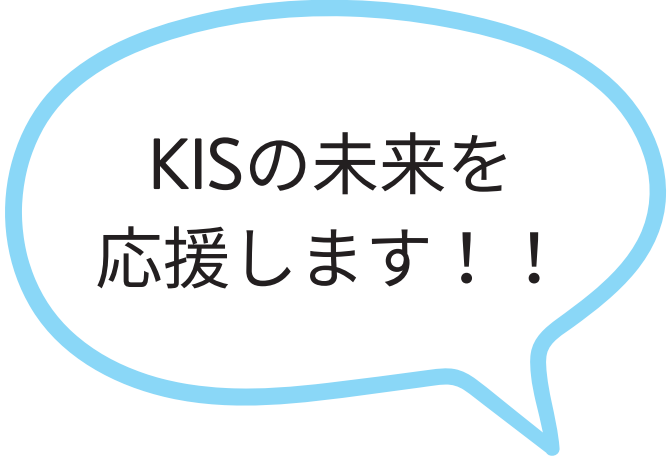


株式会社 三寶テクノ

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-16-214

TEL : 06-6151-2679 FAX : 06-6151-2479

WEB : <http://sp-techno.com> E-Mail : info@sp-techno.com



KISの未来を
応援します！！

株式会社 **ケイ・ジエイ**

代表取締役 **姜太淑**

〒661-0002 兵庫県尼崎市塚口町3丁目36-3



不動産の有効利用・賃貸・管理

**株式会社総合経営
平田不動産株式会社**

代表取締役 **平田 健一**
(文 健 一)

ホテルアインズイン梅田東

〒530-0047

大阪府大阪市北区西天満3-13-15

TEL 06-6131-0217 FAX 06-6131-0218 E-mail:front@eins-inn.com

ホテルアインズ大阪門真市駅前 ととのい乃湯

〒571-0047

大阪府門真市栄町6-1

TEL 06-6900-6777 FAX 06-6900-6778 E-mail:info@hoteleins.com

本社

〒530-0015

大阪府大阪市北区中崎西1-8-24 アインズビル梅田613

TEL 06-6780-4157 FAX 06-6780-4158 E-mail:hirata-f@mx5.alpha-web.ne.jp



Korea International School

supporter

月額 1,000 円から

コリア国際学園 (KIS) を支えていただける
マンスリーサポーターを募集しています。

コリア国際学園 (KIS) は保護者の方々にご負担いただいている学費と、
たくさんの支援者からの寄付で運営されています。

今後も、コリア国際学園 (KIS) を支えてくださるマンスリーサポーターを広く募集しております。

頂いた寄付金は学校施設費、教育機器設備など、学校運営のために活用させていただきます。

卒業生・保護者・関係者の皆様をはじめ広い社会各層からのご支援を何卒よろしくお願いいたします。

マンスリーサポーターは毎月一定の金額を定期的に寄付していただくことで
コリア国際学園を支えていただく制度です。

月額 1,000 円から申し込みが可能です。

<https://congrant.com/project/kis/2213>

詳しくはこちらのQRコードから



越境人 第 24 号

2026 年 9 月発行

発行 学校法人コリア国際学園

〒567-0057 大阪府茨木市豊川 2 丁目 13 番 35 号

TEL: 072-643-4200 FAX: 072-643-4401

HP: <http://www.kiskorea.ed.jp>

E-mail: contact-school@kiskorea.ed.jp

※本誌記事を無断で転載する事を禁じます。